

エコアクション21

環境経営レポート

2024年度
運用期間 (2024年1月1日～2024年12月31日)



発行年月日 2025年1月22日

有限会社 桑野組

目 次

環境経営方針	．．．．．	P 1
1. 事業活動の内容	．．．．．	P 2
2. 実施体制図	．．．．．	P 4
3－1. 環境経営目標 中期	．．．．．	P 5
3－2. 環境経営目標と実績	．．．．．	P 6
4. 環境経営計画	．．．．．	P 7
5. 環境経営計画の取組結果と評価	．．．	P 9
6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	．．	P1 2
7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに 違反、訴訟等の有無	．．	P12
8. 代表者による全治評価と見直し・指示	．．．．	P1 2

環境経営方針

当社は、地域の皆様に関する、様々なインフラを整備することで、社会貢献を実現するとともに、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予測される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題だと認識し、本業のさまざまな仕事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

重点的に取り組む内容は、次の通りです。

1. 事故の発生を抑制するため、朝礼時のKY活動等活用し、安全管理を徹底いたします。
2. 業務の手戻りが無いように、事前打合せや、変更箇所の再確認を行います。
3. 創意工夫により省エネ、省資源活動に取り組み、二酸化炭素の排出量を削減します。
4. 業務上の副産物の分別、再使用、再生使用(リサイクル)、適正管理に取り組みます。
5. 全社的にごみの分別、再使用、再生使用(リサイクル)、に取り組み、限りある資源を大切にいたします。
6. 適正な水利用を行い、節水に取り組みます。
7. 全社において環境に配慮した作業を徹底します。
8. お客様に安心して安全な商品を提供するため、環境関連法を順守し、業務を遂行します。

制定日 2020年12月1日

有限会社 桑野組

代表取締役 桑野 秀幸

1.事業活動の内容

◆組織の概要

(1)名称及び代表者名

有限会社 桑野組

代表取締役社長 桑野 秀幸

(2)所在地

本 社 :福岡県田川郡福智町金田632-4

自動車車体整備部:福岡県田川郡福智町金田504-1

生コン製造販売部:福岡県田川郡糸田町3980番地

(3)環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

環境管理責任者 今村 明夫

TEL:0947-22-0500 FAX:0947-22-1222

E-mail:a.imamura@kuwanogumi.co.jp

URL:http://kuwanogumi.co.jp

(4)許可・認証

本 社 建設業許可(特定建設業許可)福岡県知事 許可(特 - 4)第8116号

建設業許可(一般建設業許可)福岡県知事 許可(般 - 4)第8116号

自動車車体整備 福岡陸運局認証番号 第1-940号

生コン製造販売 JIS A 5308 認証番号 TC0808047

(5)営業年数

創業 昭和14年 (1939年)

営業年数 86年

(6)資本金

参千万円

(7)事業規模 2024年度

活動規模	本社(工事)	自動車車体整備部	生コン製造販売部	合 計
売上高(百万円)	627	67	305	999
従業員(人)	17	7	16	40
床面積(㎡)	305.2	55.2	210.7	571.1
倉庫面積(㎡)	75.6	353.0	793.4	1222
工場・作業所(㎡)	0.0	828.8	73.0	901.8

(8)事業年度

1月 ～ 12月

◆認証・登録の対象範囲(組織・活動)

(1)対象事業者名 有限会社 桑野組

(2)対象事業所 本社

自動車車体整備部

生コン製造販売部

(3)対象事業活動

本 社

建設業(土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、舗装工事業
水道施設工事業、管工事業、解体工事業)

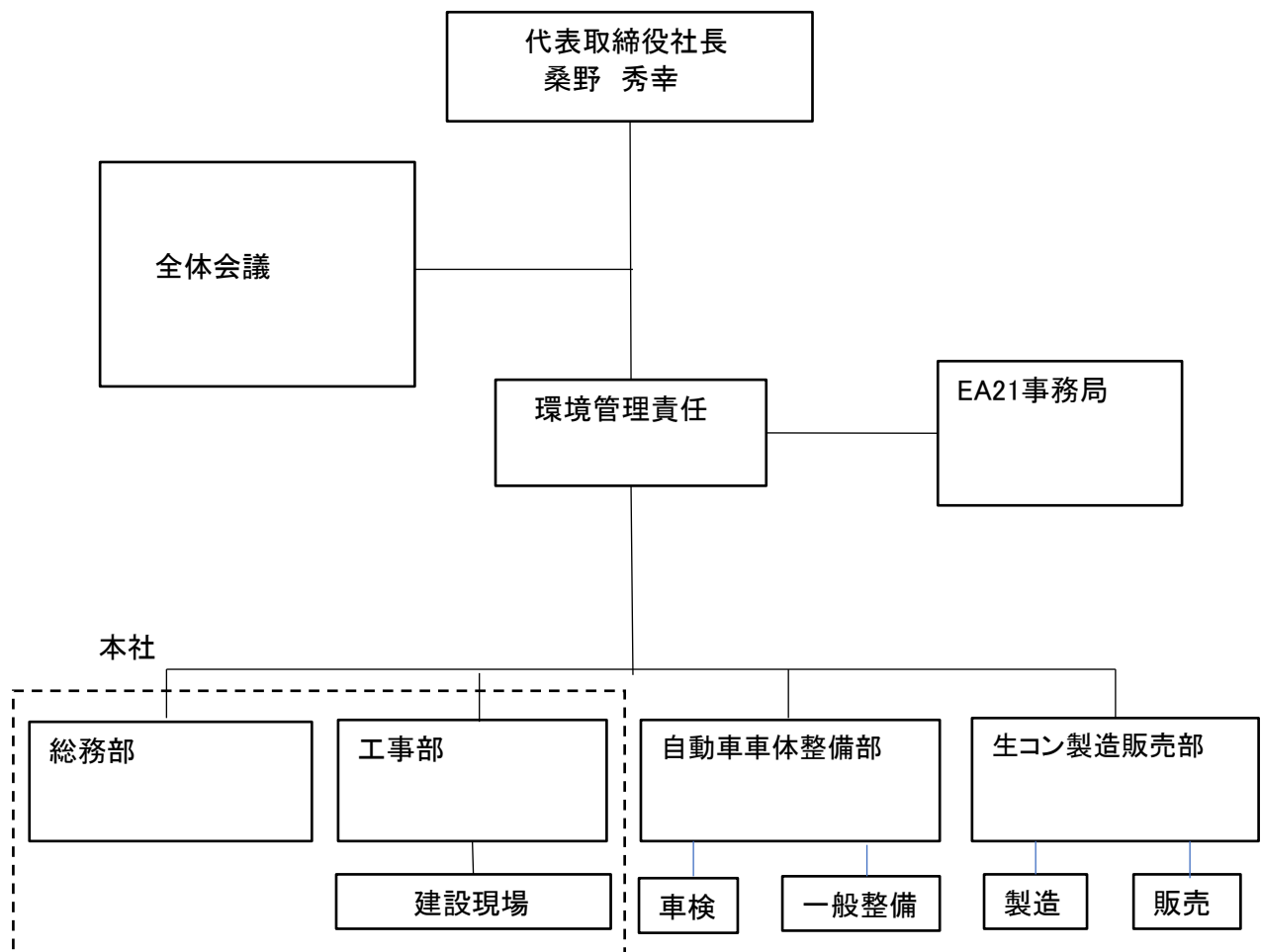
自動車車体整備部

自動車車検・整備業

生コン製造販売部

生コン製造販売業

2. 実施体制図



所属(役職)	役割・責任・権限・使命
代表者 (代表取締役社長)	環境方針の策定、環境管理責任者を任命する、EA21に関する全ての責任と運用についての権限をもつ、代表者による全体の評価と見直しを行う
管理責任者	EA21を構築し実施・管理する、環境への負荷及び取り組みの自己チェックを確認し承認する、環境活動の取り組み結果を代表者へ報告する、環境関連法規制等の順守・評価を行う
全体会議	3カ月に1回開催し、関係目標の達成状況及び活動計画の実施状況を審議
EA21事務局	EA21の文書及び記録類の作成・維持・管理
総務部 (課長)	EA21委員会及び環境管理責任者に必要な情報を提供すると共に、委員会の決定事項等を社内に周知し、EA21を着実に実施する
工事部	工事部におけるEA21の遂行を統括する
自動車車体整備部	自動車車体整備部におけるEA21の遂行を統括する
生コン製造販売部	生コン製造販売部におけるEA21の遂行を統括する
建設現場	建設現場のEA21の遂行管理と関連部との調整を担当する。

※全社：本社+自動車車体整備部+生コン製造販売部をいう。

3-1.環境経営目標

環境目標			単位	2023年1月～ 2023年12月	2024年1月～ 2024年12月	2025年1月～ 2025年12月	2026年1月～ 2026年12月
				(基準年度)	目標	目標	目標
1	1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	468,792	基準年度の1%削減 464,104	基準年度の2%削減 459,416	基準年度の3%削減 454,728
	1-1	電気使用量の削減(全社)	kWh	278,290	基準年度の1%削減 275,507	基準年度の2%削減 272,724	基準年度の3%削減 269,941
		本社・自動車整備事務所		107,871	106,792	105,714	104,635
		生コン製造		166,942	165,273	163,603	161,934
	1-2	ガソリン使用量の削減(全社)	ℓ	31,816	基準年度の1%削減 31,498	基準年度の2%削減 31,180	基準年度の3%削減 30,861
	1-3	軽油使用量の削減(全社)	ℓ	73,247	基準年度の1%削減 72,514	基準年度の2%削減 71,782	基準年度の3%削減 71,049
	1-4	灯油使用量の削減(全社)	ℓ	4,110	基準年度の1%削減 4,069	基準年度の2%削減 4,028	基準年度の3%削減 3,987
	1-5	LPG使用量の削減(全社)	kg	61	基準年度の1%削減 60	基準年度の2%削減 60	基準年度の3%削減 59
2	2-1	廃棄物の削減(全社)	kg	694	基準年度の1%削減 687	基準年度の2%削減 680	基準年度の3%削減 673
	2-2	業務上(建設を含む)副資材のリサイクル(全社)	率	100	100	100	100
3	3-1	水使用量の削減(全社)	m3	791	基準年度の1%削減 783	基準年度の2%削減 775	基準年度の3%削減 767
4	4-1	環境に配慮した業務 事故ゼロ、苦情ゼロ	件	0	0	0	0
5	5-1	地域貢献活動(全社)	件/月	1	1	2	2

- 1・全社とは本社+自動車車体整備部+生コン製造販売部をいう。
 ・購入電力の排出係数: 九電=0.371 エネサーブ=0.707(kg-CO2/kWh)
 ・電気、ガソリン、軽油、灯油、LPGは総務部が全社のデータを集計。
 ・化学物質は使用していません。

3-2. 環境経営目標の実績

環境目標			単位	2023年1月～ 2023年12月 (基準年度)	2024年1月～ 2024年12月 目標	2024年1月～ 2024年12月 実績	達成 状況
1	1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO2	468,792	基準年度の1%削減 464,104	434,028	○
	1-1	電気使用量の削減(全社)	kWh	278,290	基準年度の1%削減 275,507	273,711	×
		本社・自動車整備事務所		107,871		108,736	×
		生コン製造		166,942	165,273	164,975	○
	1-2	ガソリン使用量の削減 (全社)	ℓ	31,816	基準年度の1%削減 31,498	24,495	○
	1-3	軽油使用量の削減 (全社)	ℓ	73,247	基準年度の1%削減 72,514	68,242	○
	1-4	灯油使用量の削減 (全社)	ℓ	4,110	基準年度の1%削減 4,069	2,986	○
	1-5	LPG使用量の削減 (全社)	kg	61	基準年度の1%削減 60	62	×
2	2-1	廃棄物の削減 (全社)	kg	694	基準年度の1%削減 687	647	○
	2-2	業務上(建設を含む)副資材の リサイクル (全社)	率	100	100	100	○
3	3-1	水使用量の削減 (全社)	m3	791	基準年度の1%削減 783	795	×
4	4-1	環境に配慮した業務 事故ゼロ、苦情ゼロ	件	0	0	0	○
5	5-1	地域貢献活動(全社)	件/月	1	1	1	○

4. 環境経営計画

- 1) -1 二酸化炭素排出量の削減（全社【建設現場を除く】）
 - (1) 電気使用量の削減
 - ① エアコンの設定温度を決め、実行する。（夏28度・冬20度）
 - ② 昼休みの消灯
 - ③ 残業時の不要な照明の消灯
 - ④ 長時間席を離れる時、パソコンの電源自動オフ
 - (2) ガソリン使用率の削減
 - ① エコドライブの励行
 - ② アイドリングストップの励行
 - (3) 軽油使用量の削減
 - ① 生コン輸送距離の最短化
 - (4) 灯油使用量の削減
 - ① 不要な暖房の節約
 - (5) LPG使用量の削減
 - ① 不要な火力の節約
- 1) -2 二酸化炭素排出量の削減（現場）
 - (1) 電気使用量の削減
 - ① エアコンの設定温度を決め、実行する。（夏28度・冬20度）
 - ② 不要な照明の消灯
 - (2) ガソリン使用率の削減
 - ① エコドライブの励行
 - ② アイドリングストップの励行
 - (3) 軽油使用量の削減
 - ① 重機の燃費向上（エコ運転）
 - ② 重機・車両の適性空気圧の調整
 - (4) 灯油使用量の削減
 - ① 不要な暖房の節約
 - (5) LPG使用量の削減
 - ① 不要な火力の節約
- 2) -1 廃棄物の削減（全社【建設現場を除く】）
 - (1) 一般廃棄物の削減
 - ① 書類の電子化を行い紙を使用しない。
 - (2) 副資材のリサイクル
 - ① 事務所からの発生物の分別管理を行いリサイクル率を高める
- 2) -2 廃棄物の削減（建設副資材のリサイクル率）（現場）
 - (1) リサイクル率の向上
 - ① 分別の徹底
 - ② 再利用・再生利用の推進
- 3) -1 水使用量の削減（全社【建設現場を除く】）
 - (1) 水使用量の削減
 - ① 節水（蛇口をこまめに止める）
- 3) -2 水使用量の削減（現場）
 - (1) 水使用量の削減
 - ① 節水（蛇口をこまめに止める）
 - ② 雨水を溜める様に心掛け、飲料以外は雨水を利用する。
- 4) -1 環境に配慮した業務（全社【建設現場を除く】）
 - (1) 事故・苦情をなくす
 - ① 事故を無くすため、安全点検を励行する
 - ② 騒音・廃油の処理等で迷惑をかけない。
- 4) -2 環境に配慮した業務（現場）
 - (1) 建設事故0を目指す
 - ① 朝礼時にKY活動を実施し、安全パトロールを確実に行う
 - (2) 近隣に対して苦情0とする
 - ① 低騒音・振動型建設機械の検討・採用
- 5) -1 地域貢献活動（全社【建設現場を除く】）
 - (1) 地域貢献活動
 - ① 事業所周辺の清掃を行う。
- 5) -2 地域貢献活動（現場）
 - (1) 地域貢献活動
 - ① 建設現場周辺の清掃
 - ② 仮囲いの周囲には、鉢植えの花等を置く

5. 環境経営計画の取組結果と評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量の削減は1, 8, 12月はその目標値を上回っていたが、他の月は目標値を達成していた。その原因として年度末の仕事量が増加と、中期の仕事量の増加によるものだと考えられる。しかし、最終的に一年の合計値は度末の合計値は目標値を達成した。

(1-1) 電気使用量の削減

電気使用量は、1, 2, 3月、7, 8, 9月は目標を達成できず他、夏季、冬季のエアコンの稼働率が高かったためであると考えられる。そして、一年の合計値は目標値を達成できなかった。今後は、温度設定を確実に守り実行して行きたい。

(1-2) ガソリンの使用量の削減

ガソリン使用量は年間を通じて目標値を達成していた。当然ながら1年の合計値も目標値を達成した。このような体制を来年も継続したい。

(1-3) 軽油の使用量の削減

軽油に関しては使用量は、1, 4, 5, 12月が目標値を達成できなかったが、しかし、最終的に年度末の合計値は目標値を達成できた。

(1-4) 灯油の使用量の削減

灯油はストーブで主に使用し、冬期に最も使用される。当然ながら平均値が目標より超過することは明らかであるが、しかし、最終的に年度末の合計値は目標値を達成した。

(1-5) LPG使用量の削減

LPGは主な用途は湯沸かし器及びガスレンジである。したがって、冬場の使用が多くなり、平均の目標値を超過していた。最終的に僅かではあるが年度末の合計値は目標を達成出来なかった。

(2-1) 一般廃棄物の削減

一般廃棄物は3, 6, 9月が目標値を達成出来ず、最終的に年度末の合計値は目標値を達成できた。また、1昨年比べてその総量は減少している。

(2-2) 業務上(建設を含む)副資材のリサイクル率

リサイクル率は100%で目標率を達成していた。

(3-1) 水使用量の削減

水使用量の削減は1, 6, 9, 10, 11月が目標値を超過している。そして、年度末の合計値は目標値を達成出来なかった。病原菌（コロナ、インフルエンザ等）の影響で手を清潔に保つ人が増加したこともある。次年度は節水に心掛け頑張ろう。

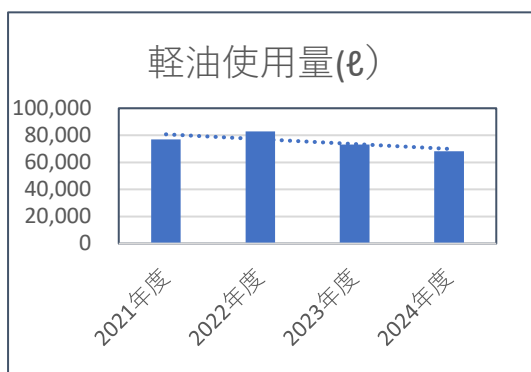
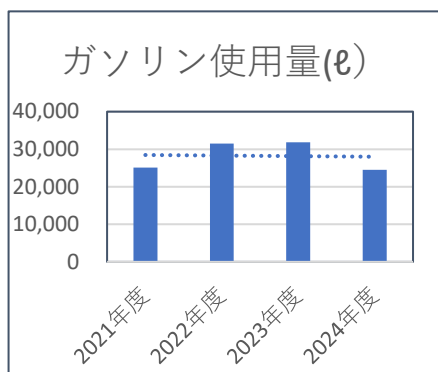
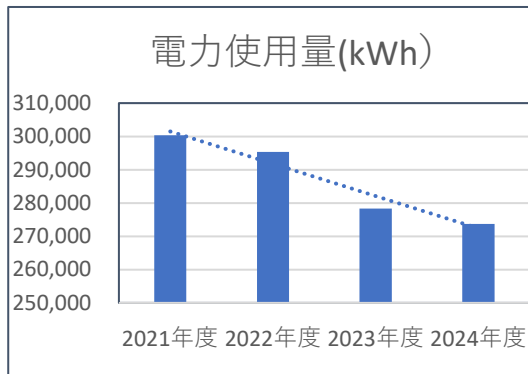
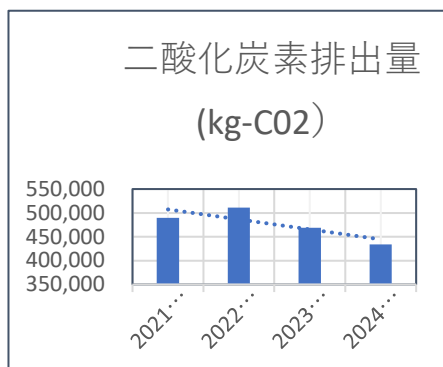
(4-1) 環境に配慮した施工 事故ゼロ、苦情ゼロ

本社、現場ともに達成できた。

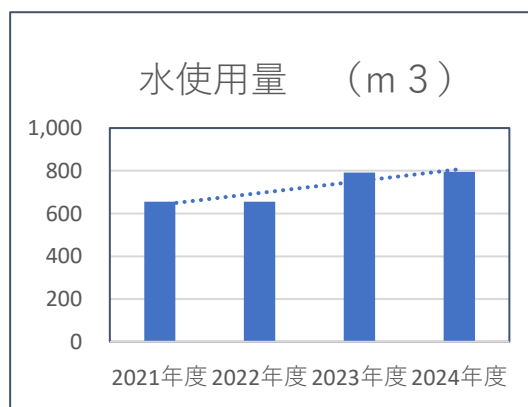
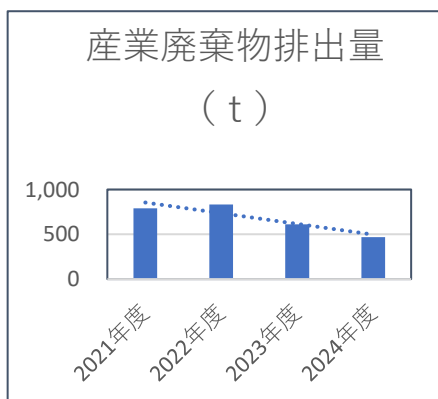
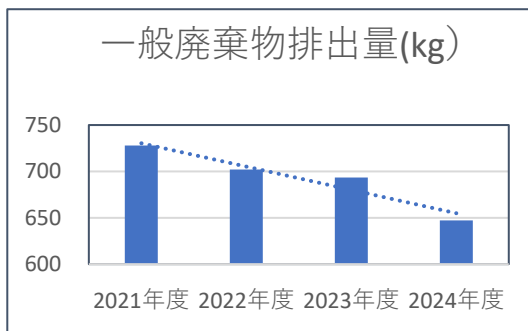
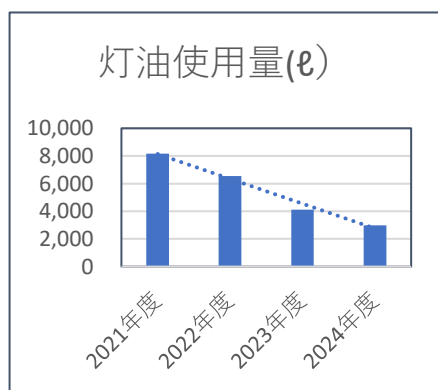
(5-1) 地域貢献活動

本社、現場ともに達成できた。

環境活動の取組状況



遠方の建設現場が増加し



コロナ禍にあり、衛生管理強化で水使用量

<実績データ>

項 目		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量		kg-CO2	489,710	511,097	468,792	434,028
電力使用量	全社	kWh	300,363	295,370	278,290	273,711
	本社・車体整備	kWh	120,157	110,048	107,871	108,736
	生コン工場	kWh	180,206	181,439	166,942	154,975
ガソリン使用量		ℓ	25,125	31,468	31,817	24,495
軽油使用量		ℓ	76,973	82,989	73,297	68,242
灯油使用量		ℓ	8,160	6,536	4,110	2,986
LPG使用量		kg	51	61	61	62
一般廃棄物排出量		kg	728	702	694	647
産業廃棄物排出量		t	792	832	613	467
水使用量		m ³	655	655	791	795

<グラフ作成データ>

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量(kg-CO2)	489,710	511,097	468,792	434,028

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
電力使用量(kWh)	300,363	295,370	278,290	273,711

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
ガソリン使用量(ℓ)	25,125	31,468	31,817	24,495

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
軽油使用量(ℓ)	76,973	82,989	73,297	68,242

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
灯油使用量(ℓ)	8,160	6,536	4,110	2,986

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
一般廃棄物排出量(kg)	728	702	694	647

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
産業廃棄物排出量(t)	792	832	613	467

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
水使用量 (m ³)	655	655	791	795

6. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

次年度の環境経営目標についても、2023年の実績を基準年にし、毎年1%づつを減じた値を目標とする。また、環境活動計画は、本誌4、を継承します。2024年の結果については下記の通りとなった。

- 1) 二酸化炭素総排出量の削減は、今年度は基準年（2023年）の1%削減の目標が実状は6.4%も削減しました。ガソリン使用量、軽油使用量、灯油使用量が大きく影響している。今後も他の項目を含め環境活動計画に従って目標値を満足できるようにがんばります。
- 2) 一般廃棄物の削減は、次年度は、基準年（2023年）の2%の削減を目標とします。
建設副産物のリサイクル率は、コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊100%とします。
- 3) 水使用量の削減は、病原菌（コロナ、インフルエンザ等）の影響で手洗いが増加するにしても、節水に心がけるとともに、雨水の利用をはかります。次年度は、基準年（2023年）の2%の削減を目標とします。
- 4) 環境に配慮した施工では、朝礼を行い、KY活動を実施すると共に、安全管理を徹底し、事故を絶対に起こさないようにします。また、建設騒音、振動の発生を低減し、苦情が生じないようにします。
- 5) 全社、現場とも、地域貢献活動を引き続き実施します。

7. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

当社が遵守しなければならない環境関連法規等は次の通りです。

○建設リサイクル法○廃棄物処理法○振動規制法○騒音規制法○大気汚染防止法○水質汚濁防止法

○下水道法○浄化槽法○土壤汚染対策法○フロン排出抑制法○自動車リサイクル法○消防法○労働安全衛生法

それらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

なお、関係当局より違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去4年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1) 評価

エコアクション21の活動も、今期は2023年を基準年とし、それから更に1%の削減を目標とすることで実施した。その結果として、二酸化炭素の排出は6.4%の削減した。電気の使用量に関しては目標値を0.4%上回った。ガソリンの使用量、軽油の使用量、灯油の使用量共に目標値を満足した。他の事項についても目標値を満足できないものもあったが、この4年間を振り返ると本レポートのP.10「環境活動の取り組み状況」のグラフからも明確なように各項目の事項が右肩下がりで減少していることがわかる。エコアクション21の活動を通じて、社員の環境に対する考え方が変化し、徐々に良い方向に向いてると考えて良いと思う。

現場での施工は、事故、苦情もゼロにおさえ、施工機械も低騒音、低振動機械を使用し、環境に配慮した施工を継続して行くこと。

2) 見直し・指示

- ①今後とも、継続して、創意工夫を取入れ、ムリ・ムラ・ムダの削除を図っていく。
- ②今後とも、継続して、環境に配慮し、地域にとけこんだ施工を行う。
- ③社員の健康管理を考えながら、無事故で楽しい職場としたい。